

卒業生に会いに行きました。

DENBIは1985年の創立以来、卒業生は5,000名を超えて、さまざまな分野で活躍しています。地元熊本で働いている先輩たちもいれば、福岡や東京など新しい活躍の場を選んだ先輩たちもいます。それら多くの卒業生たちの中から5学科7人の方に会いに行ってきました。いま、どんなお仕事をされているのか。DENBIへと進学した理由やここで学んだことがどのように活きているのか。卒業生たちの生の声を、皆さんの未来づくりの参考にいただければと思います。



アルサーガパートナーズ株式会社 フロンティアビジョンスタジオ
(左から) 瀬戸口楓河さん、松崎航平さん、川下虎太郎さん

同期入社の3人。個性も趣味もバラバラだけど、システム開発の楽しさや一流を目指す意欲は共有している。DENBIの級友は新しい関係へと進化していた。

アルサーガパートナーズ株式会社 システム開発部（熊本市）

令和5（2023）年度卒 / ITエンジニア科 スマートフォンアプリコース

瀬戸口 楓河（鹿本商工高校出身）
Fuga Setoguchi

現在、システム開発部で業務システムの開発や保守に携わっています。入社1年目。ようやく慣れてきましたが、先輩たちのスピードには敵いません。

仕事の中で煮詰まることもあります。システムのロジックがなかなか解決できなくて。そんな時、先輩に相談したら一発で解決。すごいなあと思いますし、そんな先輩たちがいるという安心感は大きいですね。

プログラミングの面白さは、計画通りに動いた時の気持ちよさ。

例えば問題（バグなど）を解決できた時。原因を追及し、考えた解決法がドンピシャだった時、面白い!と思うし、自分の成長も感じますね。もっといろんなことを学んでいきたいし、これからの自分の成長が楽しみです。

小学生の頃にはゲームプログラマに憧れていました。

ゲームが好きだったので作側にも興味があって。高校に入るとプログラミングの授業があって、やっぱり面白くて、もっと専門的に勉強したくなりました。そして今は仕事にすることができました。やがて「瀬戸口君に聞けばわかる!」と言われるくらいの技術や経験を身につけていきたいです。

DENBIに入学したのは、熊本でIT関連の幅広い知識と技術を学べる場所だったからです。

ホームページなどで調べたらDENBIのITエンジニア科の授業科目がいちばん自分に合っていると思ったんです。市内中心部にも近いので、ここなら楽しそうとも思いました。



松崎 航平（湧心館高校出身）
Kohei Matsuzaki

新規システムの開発やメンテナンスを担当させていただいています。

クライアント様との要件のすり合わせに始まり、全体設計、ビジュアルも含むフロントエンドの制作、システム設計、組み立て・・・といった一連の流れに携わっています。入社してすぐに全体的な流れを見ることができて、会社に感謝しています。

システム開発の仕事は一瞬で時間が過ぎてしまいます。まるでゲームに熱中している時のように。

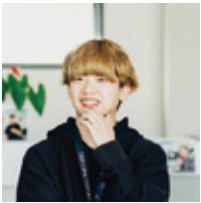
システム開発やプログラミングにはいろんなハードルがあって、大変なことも多いのですが、それまで学んできた知識や技術がある瞬間、バツと活かせる。まるで伏線回収の気持ちよさです。将来は、多くの人に使ってもらえるオープンなシステムの開発をやっていきたいなあと思っています。

小さい頃からゲームは好きでした。PCを扱う仕事に就きたいと思ったのは高校の時です。

いとこがエンジニアだったんです。ぱっと見はネクラなんですけど、実は陽キャで、楽しい人です。なんとなく、エンジニアって面白そうだなあと思ったんですね。

DENBIに入学したのは有名だったし、いい就職がしなかったからです。

有名っていうのは歴史があるってことだし、歴史や実績があれば就職にも有利だと思います。ほんと、僕は就職を見据えて学校選びもしました。おかげで、志望していた会社に入社することができました。クラスメイトも同じ目標を持っているので情報共有もしやすく、DENBIで学んでよかったですね。



川下 虎太郎（千原台高校出身）
Kotaro Kawashita

サーバーサイドエンジニアとしてシステム改修、開発に携わっています。

松崎君と同様に一連の流れを担当させていただいてます。マニュアル作成、画面デザインの設計、DB（データベース）設計、その他ドキュメントの作成など。早い内から上流パートにタッチさせてもらえる会社なので、とてもありがたいです。

開発業務は楽しいです。また、先輩方からほめてもらえるのがうれしくて。でも緊張感もあります。

先輩たちのリアクションが速いんです。作業の進捗状況を「作業完了しました」と報告すると、PM（プロジェクトマネージャー）からすぐに「いいね!」とスタンプが送られてきます。一方、この仕事は情報流出といった大きな問題にも直結しますから、緊張感も大きいですね。

鮮魚店と兼業できる仕事ってないのかな、がDENBI入学へつながりました。

実家の鮮魚店を継ぐ予定だったので、副業でやれる仕事ってないかなと。ゲームやPCも好きだったし、進路指導の先生に相談したら「DENBIはどう?」って。オープンキャンパスを訪ねたら人数もちょうど良く、先生の目が届くサイズだなと思いました。

DENBIで「自分で考える面白さ」に目覚めました。

授業は最初、あまり面白くなくて。ところが1年の終わり頃、アプリを自由に作る授業があって、自分で考えるって面白い!と。試行錯誤の繰り返しですが、ある時、「成長してる!」という感動につながるんですね。



上司からヒトコト

アルサーガパートナーズ株式会社
フロンティアビジョンスタジオ システム開発部 月野 大和

- 同期や先輩とも良い関係を築けており、良い人柄が発揮できています。仕事では先輩社員と同じタスクを任せており、技術的に苦勞する場面も多くありますが、その分、成長できているように感じます。積極性やチャレンジ精神をもっと発揮して、さらにがんばって欲しいと思います。
- 新たなチャレンジに対する成功体験をたくさん積んでってください。新卒でこの業界に入ったのならば、マネジメントでもテクニカルでもよいので、一流になってくれることを期待しています。人が大きく成長するのは、今の自分では太刀打ちできない仕事にチャレンジしたその先にあります。ぜひ、自分の殻を破って成長してください。